

食品ロスダイアリーの 自治体での進め方

食品ロスダイアリーアプリセミナー(第2回)
2021年2月4日(木)

持続可能社会部 松岡夏子

市民に食品ロスダイアリーに取り組んでもらうために

● 広報・ホームページで紹介 + α を

- わざわざ検索して見に来る人はかなり意識が高い人に限定され、効果が期待できない

● 自分の食品ロスは過小評価している人が多い

- SDGsへの関心が高まり、国民全体の「食品ロス」に対する認知度は向上
- 一方で、自分の食品ロスを過小評価している人が多い = 具体的な行動につながりにくい

● まずは多少なりとも「食品ロス」に関心がある人に確実に情報を届ける

- 食品ロスの問題を知っているけど、特に何もしていない / 何をしたらいいかわからないという人に知ってもらい、取り組んでもらう工夫が必要

取組前の廃棄認識と実際の廃棄量（手つかず食品）

(回/4週)



普及方法の例

以下のようなアイデアを参考に、地域の実情、予算に合った効果的な方法を検討

普及方法	具体例
市民への郵送物等を活用	<ul style="list-style-type: none">■ ごみ分別冊子・カレンダー等で紹介■ 各種通知封筒に食品ロスダイアリーのサイトへのQRコードを掲載
調査事業のモニター募集	<ul style="list-style-type: none">■ 食品ロスの実態把握を目的とした調査としてモニターを募集して実施
食育・環境教育の教材	<ul style="list-style-type: none">■ 小中学校の総合学習や環境学習の取組として紹介（紙媒体）■ 夏休みの自由研究テーマ・ツールとして紹介
地域・環境団体等と連携	<ul style="list-style-type: none">■ 婦人会、自治会等の地縁組織の活動として紹介■ 消費者団体、ごみ減量等推進員等の活動として取り入れる
食品関連事業者との連携	<ul style="list-style-type: none">■ SDGsに意識の高い食品関連事業者等と連携した広報・キャンペーン

食育・環境教育の教材

長野県松本市の例

●子ども = 未来の大人への啓発

- 児童・生徒を通じて家庭での取組・気づきにつながる（子育て世帯は食品ロス量が多い）

●年齢にあった教材を紹介

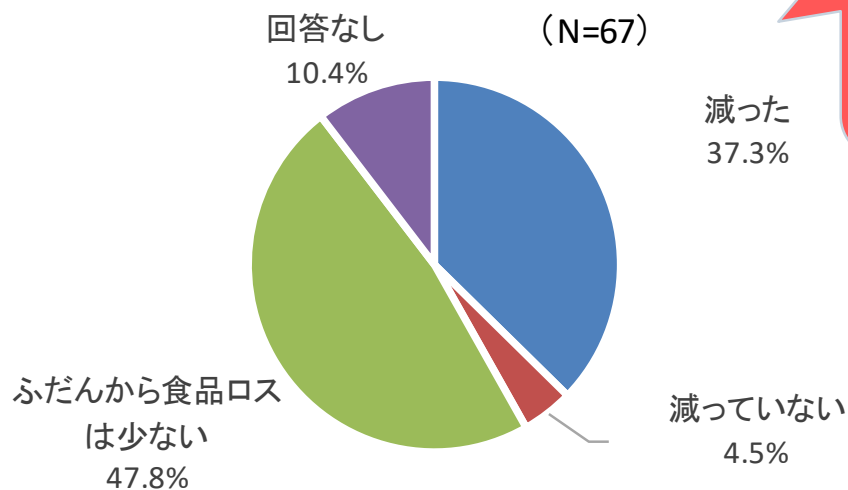
- アプリ版/紙版
 - 小学生高学年向け：7日間でチャレンジ！食品ロスダイアリー（環境省作成）
 - 小学生中学年向け：こども食品ロスウォッチャー（長野県松本市作成（環境省モデル事業））

●最後に保護者が記入するアンケートを用意して参画を図る

子ども食品ロスウォッチャー



1週間での食品ロス量の変化



学校との調整は大変…でも、取り組んでもらえれば効果は大きい！

地域・環境団体等と連携

神戸市「エコアクションメニュー」の例

●自治体とつながりのある地域・環境団体の活動として紹介し、取組を促す

- 婦人会・消費者団体
 - 料理や食品に対する関心が高い
- 自治会・町内会
 - 集団資源回収に対する補助金を通じてごみ問題との親和性がすでにある

●「始まり」と「終わり」を決めて、インセンティブを

- 「みなさんやってくださいね~」では、行動につながらない
- 期間を設けて最後にアンケート・実施結果を報告してもらい（できれば）インセンティブと交換
- インセンティブの例：指定ごみ袋、再生品、奨励金の単価アップ 等

● 取組例：神戸市エコタウンまちづくり

- 登録した地域団体のエコ活動に対して助成金を支出する制度のなかで、食品ロスダイアリーを対象活動に指定

エコタウン
まちづくり

循環型分野

主な対象者

小学生(低学年)
小学生(高学年)
中学生
大学生
親子
現役世代
シニア層

参加可能人数
人数制限なし

実施時間
4週間



食品ロスダイアリー



メニュー内容

食品ロスダイアリーは、ご家庭で食品ロス(手付かず食品・食べ残し)が発生するたびに記録をつける日記です。記録をつけることで、普段の生活の中でご自身がどのくらいの食品ロスを発生させているかを気づくことができます。またその結果、各家庭の廃棄の多い食品や廃棄の原因につながる行動を見直すことで、食品ロスの発生を減らすことができます。(平成29年度食品ロス実態調査より)食品ロス削減の取組は地球にも家計にも優しい取組です。地域の皆さんと一緒に身近な“もったいない”を減らしましょう。

【実施手順】

- ①【団体実施】申込書(様式1)に記入、神戸市(環境政策課)へ提出する。
※事前に、出前トーク「みんなで減らそうごみ10%!!」の実施をお勧めします。
- ②【個人実施】期間中に手付かず食品・食べ残しを廃棄するたびに「食品ロスダイアリー」(様式2)に捨てたものや・捨てた理由などを記入。
- ③【個人実施】1週間の終わりに食に関する行動を振り返る。
- ④【個人実施】上記②③を計4週間続ける。
- ⑤【団体実施】代表者が結果をまとめ報告書(様式3)を記入、神戸市(環境政策課)へ提出する。

(資料)神戸市令和2年度神戸市エコタウンまちづくり活動取組メニュー